



2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
ベーシックレッスン1-a-Bs	
第6回	エイトビートの理解
第7回	8分音符のウラをしっかりと感じて演奏する
第8回	エイトビートの感覚をしっかりと感じて演奏する
第9回	ダイアトニックコードの理解1 メジャーダイアトニックコードを理解する
第10回	ダイアトニックコードの理解2 マイナーダイアトニックコードを理解する
第11回	ペンタトニックスケールの理解1 メジャー・ペンタトニックスケールを理解する
第12回	ペンタトニックスケールの理解2 マイナー・ペンタトニックスケールを理解する
第13回	コード進行の理解と正確な演奏
第14回	ビートの感覚とフレーズの関係
第15回	メジャー・ペンタトニックスケールが使われたフレーズの理解、正確な演奏



2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
ベーシック レッスン1-a-Dr	
第6回	跳ねたリズムと3連符フレーズの理解
第7回	3拍、1拍半、半拍半フレーズ
第8回	ビーターのオン・オフ、オープン・リムショットなど
第9回	8分、16分、3連符それぞれのシンコペーション
第10回	不完全小節の理解
第11回	各音符の裏取り、2拍連、1拍めのみ等
第12回	リバウンドストロークや装飾音
第13回	3ウェイ、4ウェイによるフレーズ
第14回	曲の流れに沿ったドラミング
第15回	全体のまとめ



2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
ベーシック レッスン1-a-Gt	
第6回	ドリアンスケール
第7回	アエオリアンスケール
第8回	ドミナント系スケール、ミクソリディアン
第9回	HP5
第10回	リディアンb7th
第11回	エチュード使用
第12回	エチュード使用
第13回	課題曲『Isn't she lovely』
第14回	課題曲 『Sunny』
第15回	全体のまとめ

ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース																				
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース																				
ベーシックレッスン1-a-Key																				
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4									
担当教員	杉山泰			実務経験	有	職種	音楽家													
担当教員紹介																				
<p>メジャーレベルアーティストのサポートプレイヤーとしてコンサート実演、レコーディング等の実務経験を持つ。 他長年にわたり個人やグループ等の器楽技術、音楽理論等のレッスン経験を有する。</p>																				
授業概要																				
<p>この授業ではジャンル別にマッチングした演奏家を目指すべく右手・左手の独立からコードボイシングなど多角的な演奏実習を行います。 毎回の授業で鍵盤の基本練習である指ならしから行い、鍵盤に慣れていくところからしっかり指導していく。</p>																				
到達目標																				
<p>基本的な鍵盤演奏技術を身につけながら、鍵盤を「音楽ツール」として有機的活用できる能力を持つ。 自己の音楽的な目標に「柔軟な音楽性」をプラスして演奏到達度を高める。</p>																				
授業方法																				
<p>主にシンセパートの特訓。曲をリード譜を使用し構成・キー・リズム・ジャンルを理解することから実際に様々な年代のポップス・ヴォーカル曲の伴奏をピアノで実演するための指導を行う</p>																				
成績評価方法																				
<table> <tr> <td>試験・課題</td><td>70%</td><td>課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価</td></tr> <tr> <td>成果発表</td><td>20%</td><td>授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価</td></tr> <tr> <td>平常点</td><td>10%</td><td>積極的な姿勢</td></tr> </table>												試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価	成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価	平常点	10%	積極的な姿勢
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価																		
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価																		
平常点	10%	積極的な姿勢																		
履修上の注意																				
<p>授業内容的に実技的要素が高い為、必ず復習と練習をしましょう。ひたすら常に弾き続けることにより習得が確実なものになります。遊び感覚のシュミレーターで弾いているだけでも十分効果はあります。どんな音でも構いませんので、聞こえてきた音を徹底的に鍵盤で表現してみましょう。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>																				
教科書教材																				
<p>毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>																				
回数	授業計画																			
第1回	鍵盤（キーボード）の基礎知識と基本練習の紹介																			
第2回	鍵盤でのシュミレーション紹介と練習																			
第3回	キーボードの特訓1（スケール奏 右手）： ひたすらスケール！！（ドレミファソラシド編）																			
第4回	キーボードの特訓2（スケール奏 左手）： ひたすらスケール！！（ドレミファソラシド編）																			
第5回	キーボードの特訓3（スケール奏 右手）： ひたすらスケール！！（クロマティック編）																			

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
ベーシック レッスン 1-a-Key	
第6回	キーボードの特訓3（スケール奏 左手）： ひたすらスケール！！（クロマティック編）
第7回	見極めチェック 右手・左手・クロマティック
第8回	メジャートライアドの解説と理解
第9回	マイナートライアドの解説と理解
第10回	セブンスの解説と理解
第11回	add9thの付加 課題曲の中でのコードの付加
第12回	コードのルート演奏に慣れよう
第13回	コードのルート+5th（オルタネイト）の演奏に慣れよう
第14回	8ビートのバリエーション（Rock&Pops）
第15回	指定されたコード進行でコード&ベースで演奏セッション



2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
ベーシック レッスン1-b-Bs	
第6回	音価、読み・書き方を知る
第7回	実際に演奏し感覚を養う
第8回	音価、読み・書き方を知る
第9回	実際に演奏し感覚を養う
第10回	音価、読み・書き方を知る
第11回	実際に演奏し感覚を養う
第12回	音価、読み・書き方を知る
第13回	実際に演奏し感覚を養う
第14回	音価、読み・書き方を知る
第15回	実際に演奏し感覚を養う



2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
ベーシック レッスン 1 -b-Dr	
第6回	様々なテンポで叩き分ける
第7回	リズムパターンやフレーズで解釈する
第8回	様々なテンポで叩き分ける
第9回	リズムパターンやフレーズで解釈する
第10回	各 4 分 8 分 1 6 分の理解
第11回	読み方使い方の理解
第12回	読み方使い方の理解
第13回	フレーズ、テンポ指定して演奏
第14回	複合リズムの演奏
第15回	前期まとめ



2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
ベーシック レッスン1-b-Gt	
第6回	楽譜でのリーディング能力の的認
第7回	メトロノームを使ったり、よりプロの実践的アンサンブルを加える
第8回	機材の扱い方や、音作り等の解説
第9回	男子、女子各1曲ずつ合わせ
第10回	男子、女子各1曲ずつ合わせ
第11回	楽譜通りに演奏、足らないスキルの向上
第12回	楽譜でのリーディング能力の的認
第13回	男子、女子各1曲ずつ合わせ
第14回	課題曲の総復習 ステージパフォーマンス、リハーサルの実施
第15回	課題曲の総復習 ステージパフォーマンス発表



2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
ベーシック レッスン1 -b-Key	
第6回	テンションコードの基礎解説
第7回	課題曲を使用してテンションコードの実践、初見
第8回	様々なジャンルごとのテンションコードの使い分け、ポップス、ロック中心
第9回	様々なジャンルごとのテンションコードの使い分け、ソウル、R&B、ジャズ中心
第10回	主に洋楽と邦楽のリーディング的思考の相違と、テンション感の使い分け
第11回	ジャジーなサウンドの楽曲のコード分析 譜面使用して実践的に行う
第12回	課題曲を使用してジャジーなサウンドの楽曲のコード分析と初見
第13回	その他の楽器とアンサンブルしながら実際の現場に近い形での初見演奏
第14回	テンションコード全般の実演の総復習
第15回	他楽器とアンサンブルにて総復習

ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース																				
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース																				
ベーシックレッスン1-c-Bs																				
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4									
担当教員	上野一郎			実務経験	有	職種	音楽家													
担当教員紹介																				
<p>メジャーレベルアーティストのサポートプレイヤーとしてコンサート実演、レコーディング等の実務経験を持つ。他長年にわたり個人やグループ等の器楽技術、音楽理論等のレッスン経験を有する。</p>																				
授業概要																				
<p>この科目を受講する学生は、音楽活動を通じて今後の社会人として求められるコミュニケーション能力と、音楽家としての自己表現力を高めることによって自己鍛錬の必要性と喜びを学び、また他者との価値観の相違の認識と受容を繰り返すことで、幅の広い人間性と社会性を持つことの重要性を理解することが目的である。</p>																				
到達目標																				
<p>この科目では、自身の楽器をより専門的に表現力や判断力を高めることで創造的に表現できる力を身に付け、自己表現の喜びと他者との共感力を養うことと、日々の自己鍛錬の計画と実行の積み重ねによって得られるものがいかに重要であるかを理解することを目標とする。</p>																				
授業方法																				
<p>この授業では、毎週学生の理解度をヒヤリング・チェックしながら進める。他者の問題点が自己的問題と共通あるいは類似のことも多く、問題解決しながら進めていく。授業中の積極的発言も自己表現の一つと考え、疑問点や問題点ができる限りその場で解決しながら行っていく。</p>																				
成績評価方法																				
<table> <tr> <td>試験・課題</td><td>70%</td><td>課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価</td></tr> <tr> <td>成果発表</td><td>20%</td><td>授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価</td></tr> <tr> <td>平常点</td><td>10%</td><td>積極的な姿勢</td></tr> </table>												試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価	成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価	平常点	10%	積極的な姿勢
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価																		
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価																		
平常点	10%	積極的な姿勢																		
履修上の注意																				
<p>この授業では、受講の態度や出席数はもちろん基本的なあいさつやマナーなど一般社会の一員としてあるべき行動を求める。授業内の問題点は必ず質問またはメモに残して解消していくこと。授業内で配布されたプリント等は常時持つこと。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>																				
教科書教材																				
<p>毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>																				
回数	授業計画																			
第1回	メジャースケールとナチュラルマイナースケールの具体的な違い																			
第2回	メジャースケールと度数の関係を理解する																			
第3回	12キーにおける平行調の理解																			
第4回	全音、半音、1音半の関係を指板上で理解する・効率的な運指(1)																			
第5回	全音、半音、1音半の関係を指板上で理解する・効率的な運指(2)																			

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
ベーシック レッスン 1 - c -Bs	
第6回	指板上の5種の形から見るメジャー＆マイナーペンタトニックスケールの理解
第7回	2弦ルート, 3弦ルート, 4弦ルートのマイナーペンタトニックを弾く
第8回	1本の弦で、Fmペントニックスケールを弾く(1～4各弦で)
第9回	コール＆レスポンス
第10回	コードトーン(Root, 3rd, 5th, 7th)の機能とポジションの理解
第11回	ペントニックスケールと経過音
第12回	ペントニックスケールのチョーキングポイント
第13回	アップビート(前小節)からのアプローチ
第14回	ゴーストノートとグループ・ソロ
第15回	前期課題曲 Sweet, Do It Now, I Just Wanna Be With You, Leave Me Alone



2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
ベーシック レッスン 1-c-Dr	
第6回	自分の最速テンポで叩き続ける練習
第7回	リムとヘッドをほぼ同時に叩く感覚を習得する
第8回	スティックをヘッドの上に寝かせてリムだけを叩く感覚を習得する
第9回	左足を踏むタイミング、オープンクローズの時の手の動きを習得する
第10回	クラッシュシンバル、ライドシンバル、スプラッシュシンバルの叩き方を習得する
第11回	クラッシュシンバル、ライドシンバル、スプラッシュシンバルのサウンドコントロールを習得する
第12回	4分音符、8分音符のアクセントコントロールを習得する
第13回	16分音符のアクセントコントロールを習得する
第14回	4分音符、8分音符、16分音符を組み合わせたパターンのアクセントコントロールを習得する
第15回	ドラムセット全体でアクセントコントロールを習得する



2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
ベーシックレッスン1-c-Gt	
第6回	ブルースリックを複数紹介、キー別にフレーズ習得
第7回	ブルース進行を理解し、習得する
第8回	メジャーキーでのペントニックスケールを修得
第9回	マイナーキーでのペントニックスケールを引き分ける
第10回	サブドミナント時のソロに使う音を理解、習得
第11回	アドリブ時にメジャー、マイナーペンタを織り交ぜる
第12回	コード進行のバリエーションを理解、習得する
第13回	ペントニックスケールでアドリブソロを発表
第14回	コード進行を意識したアドリブソロを発表する
第15回	ペントニックスケール、ブルースノートを入れたアドリブソロを発表する



2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
ベーシックレッスン1-c-Key	
第6回	8ビート ペンタトニックスケールを使ったアドリブフレーズ
第7回	8ビート ペンタトニックスケールを使ったアドリブフレーズ課題曲を用いて実践
第8回	シャッフルビート ブルーノート
第9回	シャッフルビート クオータートーン
第10回	シャッフルビート メジャーへキサトニックスケール
第11回	シャッフルビート マイナーへキサトニックスケール
第12回	シャッフルビート ヘキサトニックスケールを使ったアドリブフレーズ
第13回	シャッフルビート ヘキサトニックスケールを使ったアドリブフレーズ課題曲を用いて実践
第14回	シャッフルビートのコンピング
第15回	課題曲を演奏



2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
ベーシック レッスン1-d	
第6回	楽譜でのリーディング能力の的認
第7回	メトロノームを使ったり、よりプロの実践的アンサンブルを加える
第8回	楽器陣のみで曲の全体合わせ
第9回	男子、女子各1曲ずつ合わせ
第10回	男子、女子各1曲ずつ合わせ
第11回	楽譜通りに演奏、足らないスキルの向上
第12回	楽器陣のみで曲の全体合わせ
第13回	男子、女子各1曲ずつ合わせ
第14回	ゴーストノートとグループ・ソロ
第15回	前期課題曲 Sweet, Do It Now, I Just Wanna Be With You, Leave Me Alone
第16回	前期試験発表会リハーサル
第17回	前期試験発表会